



狭山を守る！

狭山が変わる！



住民を守る

地域を守る

良好な環境と、子育て環境を充実し、多世代が暮らしやすく、誰もが住み良いまちづくりを進めます。多様な働き方や暮らしなど、一人ひとりのニーズに対応できるまちが、そこに暮らす住民を守ります。

地域を守るためには、まちの利便性と魅力を高めることが重要です。新しい技術を取り入れて安全で安心なまちづくりを進め、まちの魅力を発信する積極的な守りに取り組みます。

その1 子どもを守る

その1 安全安心

誰でも入れる保育・学童の充実

保護者のニーズを叶えるよう臨機応変に対応していきます。

児童養護シェルターを確保

子育てや家庭内の課題に包括的に対応するセンターを設け、誰一人もらさない支えあいシステムを構築します。

狭山っ子教育

義務教育学校制を視野に、30人学級制度、課外授業の充実や、地域のボランティア活動を学び人間力を育む教育を立ち上げます。

給食の無償化、学校給食の改善

学校給食の無償化と、地元食材を使ったおいしい手づくり給食に取り組みます。

病児保育、土日一時預かり制度創設

病気の時、土日、ちょっとした時に安心して子どもを預けられる仕組みを導入します。

習い事応援金の制度

子どもの可能性を広げ、豊かさや自己肯定感を高められるよう、習い事や、塾などに通う支援制度をつくりまします。

活躍する子どもたちを支援

市内でがんばっている子どもたちを広報や市のホームページなどで紹介し、大阪狭山市全体で応援します。

学校を開放へ

放課後の「あそび」や「まなび」の場として学校を開放します。

防犯カメラを増設とライブカメラ

犯罪抑止のため防犯カメラの増設、公共施設にライブカメラを設置し、混雑状況などが把握できるようにするとともに防犯や魅力発信へ。

集合住宅へ防犯カメラ設置補助

集合住宅地内に設置する防犯カメラの設置費を補助します。

防災と再生可能エネルギー

蓄電池や再生可能エネルギーを活用し「災害に強い市役所」にします。また、避難所運営に期待される中高生の災害対応訓練を実施します。

各種団体との連携

市内で活動する団体、事業者と行政が連携し、街全体で治安を維持します。

その2 インフラ整備

新しい材料の積極的採用

民間企業が開発した新材料・新技術・新工法を積極的に活用し街の魅力を高めます。

府営住宅の再開発

府営住宅の再開発に併せて、産官学、カフェ、コワーキングスペース、公園など新たな価値を生み出します。

陶器山通りと富田林をつなぐ

陶器山通りを金剛団地に直結し、泉北ニュータウン、大阪狭山市から金剛団地、外環へのアクセス道路を実現します。

金剛駅前の再開発

金剛駅周辺の開発プロジェクトを立ち上げ、アクセスしやすい駅、情報、買い物、飲食、子育てのハブとなる活気ある駅に生まれかわらせます。

デジタル技術による管理

AI技術を導入し、無駄がない効率の良い補修工事を進め、管理コストの削減を図ります。

未来を見据えた交通整備

自動運転バス、電気自動車などの交通整備を行い「最新のアクセス」の導入を行います。

緊急車両をもっと速く、渋滞解消へ

市役所前交差点（さやか通り）に右折レーンを設置する他、道路の渋滞解消に取り組みます。

公民館と図書館を改修

公民館と図書館の今後のあり方を検討し、文化と教育の施設として充実し市の魅力アップに繋がります。

その2 介護が必要な方、障がい者を守る

ケアラー条例の制定

ケアする人やケアされる人を支援するため、市独自のケアラー支援のための条例を制定します。医療と介護、ケアする人のサポートを充実します。

相談窓口のワンストップ化

弁護士をはじめ専門家と連携したオンライン相談を活用し窓口を移動することなく多様な相談に応えられる体制にします。

その3 食・職を守る

市民農園の推進

農地所有者と連携し、市民参加の農業をを広げ地産地消や食の安心安全への関心を高めます。

就労マッチングサービス

民間と協力し、市独自の就労支援窓口を設け、働きたい人の就労を支援します。

その4 健康を守る

ワクチン後遺症の治療費補助

ワクチンによる後遺症、新型コロナウイルス後遺症への治療費の補助を行います。

予防医学と検診を推進

心身ともに健康で長生きできるよう、体にいいことをイベントや地域で広めます。

その3 自治会の強化

自治会の加入促進

自治会加入を市役所全体として促進し、学校教育や地域の市民団体と協力してボランティア活動を学べるようにします。

コミュニティセンターの再編成

飲食スペースを設け、市民による施設運営を取り入れるなど、市民、住民に開かれた施設として機能を再編成します。